



コロナ禍におけるグループホームとっもろう

新型コロナウイルス感染症が、2019年12月に中国で報告されてから、瞬く間に世界中に拡がり4年になろうとしています。とっもろうの入居者の皆様は、5か所の通所先に通われているため、通所先で感染者が出て濃厚接触者となった際には、ホーム内で待機されたり、感染した場合はホーム内で療養されていました。

しかし、看護師を中心とした全ての職員がしっかり対策を取り、感染を拡げる事無く現在まで運営できております。スタッフの頑張りに感謝しています。これは、本当に素晴らしい事と自負しております。

さて、練馬区では「障害の有無にかかわらず、一人ひとりの人格と個性を大切にすること」「さまざまなコミュニケーション手段を自分で選べること」「手話はろう者にとって“大切な独自の言葉”であることを理解し、言語であることを広めること」を基本理念として、誰もが暮らしやすい地域社会を目指すために『練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例』が定められました。

グループホームとっもろうでは、開所当初から入居者の皆様とのコミュニケーションを大切に、寄り添った支援を心がけてきました。今年度は訪問診療を開始し、ホームの看護師とも連絡を密に医療面も充実させました。

これからも気持ちを新たに、入居者の皆様の個性を大切にしながら安心安全な、そして温かな支援を行ってきたいと思っております。

最後になりましたが、当法人は補助金や助成金、寄付金や会費等のご協力が無ければ運営が成り立ちません。東京都、練馬区、並びにご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

とっもろうの一日

グループホームとっもろうの入居者の皆さんは、基本的に日中それぞれの通所先に通われています。
ホームでの支援は個別対応ですので、おおよその時間になります。
また、医療的ケアを必要とされる方には看護師や研修を受けた職員による喀痰吸引等のケアを行っています。

6:00~

起床 **おはようございます**
排泄 着替え 朝食 洗顔 歯磨き 整髪 など



8:00~

各通所先へお出かけ、出勤
行ってらっしゃい



15:30~

各通所先からホームへお戻り
おかえりなさい
看護師による健康チェック
入浴 夕食 くつろぎタイム

仲良く
リラックス



21:00~

ご自分の居室にて睡眠
おやすみなさい



夏まつり ~7月開催~



飾り付けもお祭りモード！焼きそば、から揚げ、かき氷など、食事の後はテラスで水遊び！ 笑顔あふれる一日でした。



グループホームとうもろろは6年目をむかえました

入居者の皆様も、ホームでの生活にも慣れてそれぞれに時間を過ごせてきています。

今はコロナ禍が続き、地域の方々、ボランティアの方々との交流が思うように出来ない状況ですが、ホーム内で、入居者様、職員で楽しめるように季節行事を企画しています。

夏には「夏まつり」を企画し露店にあるメニューから、焼きそば、たこ焼き、かき氷などをチケットと交換して食べたり、水遊び、夜は花火を楽しみました。みんなと一緒にワイワイと過ごした日々が懐かしい、という声も聞こえてきますが「夏祭り、楽しい〜！」とたくさんの笑顔が見られました。

そんな中、入居者様のコロナの感染がありました。感染された入居者様には感染対策を講じた上で、対応する職員を限定して支援に入りました。他入居者様へ感染しないようにと、職員一丸となって危機を乗り越え、重症化することなく、他への感染も防ぐことが出来ました。

また、全入居者様の訪問診療の導入が整い、急な体調不良時など医師の指示により対応できるようになり安心しています。それに伴い、薬局との連携も整い、ホームに届けてくれるので、保護者様の負担も少し軽減されるのではないかと考えています。

コロナの状況も落ち着いてきているとはいえまだまだ、油断はできません。今後も感染対策を行い、入居者様の笑顔が沢山見られるよう少しずつできることを増やせていけたらと思っています。

施設長 飛田 悦子



新しいお仲間のご紹介

とうもろろに今年1月よりお世話いただく事になりました。平成2年3月9日生まれの32歳とリッパ(?)なアラサーです。

1歳半の時に急性小児脳症で緊急入院、3か月ほどICUで生死の境を彷徨いました。イロイロな方のお力添えで2年後に退院。その後何回も入退院を繰り返しましたが、今では発作はありませんが、元気です。キット私は生命力が強いのでは…と思います。性格はおっとり穏やか(これは大好きなお母さん譲り)。一時は経管栄養でしたが摂食指導等のリハビリで、今ではお煎餅バリバリ・焼肉・ステーキ大好き肉食系女子です。見た目はおとなしそうですが、夏目雅子さんではありませんが「舐めたらアカンゼヨ」(エヘヘ)です。以後お見知りおき下さり宜しくお付き合いくださいます様隅から隅までズイ〜と、お頼申し上げます。

MHさんお父様



ありがとうございました

グループホームとうもろろを支えて頂いています。

◆洲崎福祉財団様からの助成金を2階浴室リフト設置に活用させて頂きました。

職員の負担が軽減されました。

◆azbilみつばち倶楽部様からの支援金で3階多目的ホールのサイドボードを購入させて頂きました。

入居者様の食事室に使わせて頂いています。



これからのとっもろうについて

都内ではまだまだ数が少ない、医ケアの方に対応したグループホームですが、入居者さんはもちろんのこと、その家族や働くスタッフが楽しい、嬉しい、安心と心から思えるように、第2の我が家となっていけるといいなと思っています。

そのために、安心面では医療的な充実を図るため訪問診療や薬剤師の導入など行っていきました。24時間安心して過ごせる場であり続けるために、地域の助けも不可欠です。

医療、福祉が共同し崩れない礎を作っていけたらと思っています。

看護師 大倉 直美

看護師 自己紹介

幼稚園の同じクラスにいた田原くんという子のお母さんが車椅子に乗っていました。何だ、あの乗り物は？！

幼心にそれを見て、大きくなったらあの車椅子を押したいな・・・と

ある意味、将来の夢は叶いましたが、まだまだ叶えたい夢はたくさんあり、1日24時間では足りない私です。

看護師として働いて気がついたら20年近く過ぎていました。いろんな人から沢山のことを教わり成長させて頂き、嬉しいこと、楽しいこと、人が喜ぶ顔を見るのが好きな自分ですがこれからも周りの人を楽しませて行けたらと思っています。

看護師リーダー 大倉 直美

大川陽子です。乙女座です。猪突猛進なところがチャームポイントです。

さて、とっもろうに来て、半年が経ちました！あっという間で、驚いています。皆さんとても優しく、入居者の方々も快く受け入れてくれて、私もすぐに馴染むことができました。ありがとうございます。

看護師は、医療との橋渡しであると同時に、各々の生活をを守るのが役割です。施設で暮らす方々の生活の質を守り、入居者様、ご家族、スタッフの皆さんの想いに寄り添っていく看護師を目指し、これからも頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

看護師副リーダー 大川 陽子

◀編集後記▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で、会報も遅れていましたが、第7号が出来上がりました。コロナ対策をしながら、活動や行事の工夫をして、入居者の皆様は楽しい時間をすごされています。

次号は、通常の生活が送れている様子をご報告できますよう願っています。

～賛助会員募集・ご寄付のお願い～

私たちの活動は皆様のお力添えによって支えられています。

医療的ケアに対応するため、夜間も含めての看護師体制を維持してゆくには、私たちの力だけでは不十分です。

当法人の目的にご賛同していただき、活動を支援してくださる賛助会員及びご寄付を募集しております。

是非温かいご支援をお願い申し上げます。

◆お申込み：ホームページから書式をダウンロードし、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。

賛助会員 入会金 3,000円 年会費 2,000円

職員大募集！

私たちと一緒に入居者様の笑顔を支え、共に楽しさと喜びを分かち合う仲間を募集しています。

NPO法人とっもろう
ホームページ



発行：特定非営利活動法人とっもろう

〒176-0021

東京都練馬区貫井3-45-12

TEL：03-5936-6100 FAX：03-5936-6101

<http://www.npo-tomorrow.com/>